Panasonic®

取扱説明書

ホワイトボードソフトウェア 5.1

Windows

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

TQBH0388-J

もくじ

はじめに

本ソフトウェアは、タッチスクリーン液晶ディスプレイ、インタラクティブ プラズマディスプレイ、インタラクティブ機能搭載プロジェクターを活用して、効果的かつ革新的なプレゼンテーションを実現します。

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、PowerPoint、Internet Explorer、Aero は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBM は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標または商標です。
- Intel、Intel Core 2 は、米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標または商標です。
- その他の会社名、製品名などの固有名詞は、各会社の商標または登録商標です。

コンピューターのシステム環境

コンピューター	IBM® PC/AT 互換機
CPU	インテルアーキテクチャ（Intel Core 2 以上のプロセッサー）
オペレーティングシステム（OS）	Windows 7 Service Pack 1（Starter と Home Basic は除く） Windows 8（Windows RT は除く） Windows 8.1（Windows RT は除く）
インターフェース	USB 2.0
メモリー	32bit 版：2GB 以上 64bit 版：4GB 以上
ハードディスク	250 MB 以上の空き容量 （Microsoft .NET Framework のインストールにさらに 1.5 GB 必要になる場合があります）
ディスプレイ	解像度 XGA（1024x768）～ Full HD（1920x1080） 色数 32 bit 以上 ※マルチモニターの場合は、プライマリーのみサポートします。

お知らせ

- 本書での操作説明には、Windows 7 の画面を使用しています。
- 管理者権限を持たないユーザーの場合は、ログオフし管理者権限を持つユーザーでログインしなおしてください。
- インタラクティブ機能搭載プロジェクターをご使用の場合、Window 8.1 では動作しません。

必要なソフトウェア

Web ブラウザー	Internet Explorer 8.0 以降
Microsoft .NET Framework	.NET Framework 3.5.1 以上
Microsoft Office PowerPoint	PowerPoint 2007、PowerPoint 2010（32bit）、 PowerPoint 2013（32bit）

お知らせ

- この説明書の「設定メニュー」のイラストは、特に指定のない限り PB シリーズの「設定メニュー」を例にしています。

タッチスクリーン液晶ディスプレイをご使用の場合

本ソフトウェアは、タッチスクリーン液晶ディスプレイ（LFB シリーズ）の下記モデルに対応しています。

LFB シリーズ	TH-50LFB70 TH-65LFB70 TH-80LFB70

※ 2015 年 6 月時点の情報です。
最新の対応モデル情報は、弊社 WEB サイト (http://panasonic.biz/prodisplays/download/software/dkb.html#white_board_software_win) の「ホワイトボードソフトウェア Ver.5」欄を確認ください。

ソフトウェアの起動

本ソフトウェアは、インストールの必要はありません。実行ファイルから直接起動することができます。

1. **タッチスクリーン液晶ディスプレイにコンピューターを映像ケーブルで接続します。**

2. **タッチスクリーン液晶ディスプレイにコンピューターを USB ケーブルで接続します。**

3. **「WhiteBoard.exe」ファイルをダブルタップします。**

お知らせ

- ソフトウェアを起動する前に、必ずコンピューターの画面解像度を、本ソフトウェアがサポートする範囲内に設定してください。
  サポートしている画面の解像度は、「コンピューターのシステム環境」をご覧ください。
  （➔ 4 ページ）
  1. デスクトップを右クリックし、［画面の解像度］をクリックします。
  2. 「解像度」のドロップダウンリストをクリックし、解像度を選択します。
  3. ［適用］をクリックします。
  4. 変更確認画面が表示されますので、［変更を維持する］をクリックします。
- Windows テーマ、または Windows Aero の設定変更は本ソフトウェアが起動していない状態で行ってください。起動中に設定を変更すると正常に動作しない場合があります。

ソフトウェアの終了

1. メニューの「アプリケーション終了」ボタンをタップします。

2. タッチスクリーン液晶ディスプレイとコンピューターの接続を外します。

【Windows 8/8.1 をお使いのお客様】

- 画面をタッチした時、エフェクトが気になる場合はコンピューター側の「視覚的フィードバックを表示する」設定を変更することをお勧めします。
  1. デスクトップ画面でチャームを表示します。
  2. ［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックします。
  3. ［ハードウェアとサウンド］をクリックし、［ペンとタッチ］をクリックします。
     ※［ハードウェアとサウンド］が表示されない場合は、そのまま［ペンとタッチ］をクリックします。
  4. 「タッチ」タブを選択し、「タッチフィードバック」の「スクリーンをタッチしたときに視覚的フィードバックを表示する」のチェックを外します。
  5. ［OK］をクリックします。

インタラクティブ プラズマディスプレイをご使用の場合

本ソフトウェアは、インタラクティブ プラズマディスプレイ（PB シリーズ）の下記電子ペンに対応しています。

PB1 ペン	インタラクティブ プラズマディスプレイ PB1 付属の電子ペン • TH-50PB1 • TH-65PB1 または、オプションアクセサリーの電子ペンキットおよびリモートポインターキット • TY-TPEN1PB • TY-TPEN1RM
PB2 ペン	インタラクティブ プラズマディスプレイ PB2 付属の電子ペン • TH-50PB2 • TH-65PB2 または、オプションアクセサリーの電子ペン • TY-TPEN2

※ 2015 年 6 月時点の情報です。

お知らせ

- 電子ペン、およびリモートポインターキットの詳細は、本体付属の取扱説明書をご覧ください。
- PB1 ペン、PB2 ペンはそれぞれ付属の電子ペンアダプターと組み合わせて使用してください。例えば PB2 ペンを PB1 ペンの電子ペンアダプターで使用すると正常に動作しません。
- 他のソフトウェアやウイルスチェックなどが動作している場合は、電子ペンの反応が悪くなったり、本ソフトウェアが誤動作することがあります。
  また、電子ペンの反応が悪い場合は、他の USB 機器が影響している可能性があります。電子ペンアダプター以外の機器を USB コネクターから外してご使用ください。
- 電子ペンは光学アタッチメントと組み合わせることでリモートポインターとして使用することができます。

ソフトウェアの起動

本ソフトウェアは、インストールの必要はありません。実行ファイルから直接起動することができます。

1. **インタラクティブ プラズマディスプレイにコンピューターを接続します。**

2. **電子ペンの電源を入れます。**

3. **電子ペンアダプターを、コンピューターの USB コネクターに差し込みます。**

4. **「WhiteBoard.exe」ファイルをダブルタップします。**

お知らせ

- 電子ペンを使用するために、インタラクティブ プラズマディスプレイのタッチペン設定をオンにする必要があります。詳細は本体の取扱説明書をご覧ください。
- 電子ペンを使用するには、電子ペンを電子ペンアダプターに登録する必要があります。
  登録方法は「電子ペンの登録」をご覧ください。(➔ 12 ページ)
- ソフトウェアを起動する前に、必ずコンピューターの画面解像度を、本ソフトウェアがサポートする範囲内に設定してください。
- サポートしている画面の解像度は、「コンピューターのシステム環境」をご覧ください。
  (➔ 4 ページ)
  1. デスクトップを右クリックし、[画面の解像度] をクリックします。
  2. 「解像度」のドロップダウンリストをクリックし、解像度を選択します。
  3. [適用] をクリックします。
  4. 変更確認画面が表示されますので、[変更を維持する] をクリックします。

- インタラクティブ プラズマディスプレイを縦置きに設置されている場合は、コンピューターの画面表示を適切に回転させてください。
  画面の回転は、OS の機能より行うことができます。
  1. デスクトップを右クリックし、[画面の解像度] をクリックします。
  2. 「向き」欄の回転したい画面の向き（縦・横）を選択します。
  3. [適用] をクリックします。
  4. 変更確認画面が表示されますので、[変更を維持する] をクリックします。

- Windows テーマ、または Windows Aero の設定変更は本ソフトウェアが起動していない状態で行ってください。起動中に設定を変更すると正常に動作しない場合があります。

- リモートポインターキット使用時、ダブルクリックがうまく行えない場合は、コンピューター側の設定を「シングルクリックで開く」に変更することをお勧めします。
  1. [スタート] ボタン➝ [コントロールパネル] の順にクリックします。
  2. [デスクトップのカスタマイズ] をクリックし、[フォルダオプション] をクリックします。
     ※ [デスクトップのカスタマイズ] が表示されない場合は、そのまま [フォルダオプション] をクリックします。
  3. 「全般」タブを選択し、「クリック方法」の「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。
  4. [OK] をクリックします。

ソフトウェアの終了

1. メニューの「アプリケーション終了」ボタンをタップします。

2. 電子ペンアダプターを、コンピューターの USB コネクターから外します。

3. 電子ペンの電源を切ります。

4. インタラクティブ プラズマディスプレイとコンピューターの接続を外します。

【Windows 8/8.1 をお使いのお客様】

- 電子ペンでインタラクティブ プラズマディスプレイの画面をタッチした時、エフェクトが気になる場合はコンピューター側の「視覚的フィードバックを表示する」設定を変更することをお勧めします。
  1. デスクトップ画面でチャームを表示します。
  2. ［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックします。
  3. ［ハードウェアとサウンド］をクリックし、［ペンとタッチ］をクリックします。
     ※［ハードウェアとサウンド］が表示されない場合は、そのまま［ペンとタッチ］をクリックします。
  4. 「タッチ」タブを選択し、「タッチフィードバック」の「スクリーンをタッチしたときに視覚的フィードバックを表示する」のチェックを外します。
  5. ［OK］をクリックします。

- リモートポインターキット使用時、ダブルクリックがうまく行えない場合は、「シングルクリックで開く」設定に変更することをお勧めします。
  1. デスクトップ画面でチャームを表示します。
  2. ［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックします。
  3. ［デスクトップのカスタマイズ］をクリックし、［フォルダオプション］をクリックします。
     ※［デスクトップのカスタマイズ］が表示されない場合は、そのまま［フォルダオプション］をクリックします。
  4. 「全般」タブを選択し、「クリック方法」の「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。
  5. ［OK］をクリックします。

電子ペンの使い方

PB シリーズでは電子ペンを使用して、最大 4 本まで同時に操作することができます。
電子ペンは、電子ペンアダプターに登録することでご利用できます。
電子ペンは光学アタッチメントと組み合わせることでリモートポインターとして使用することができます。

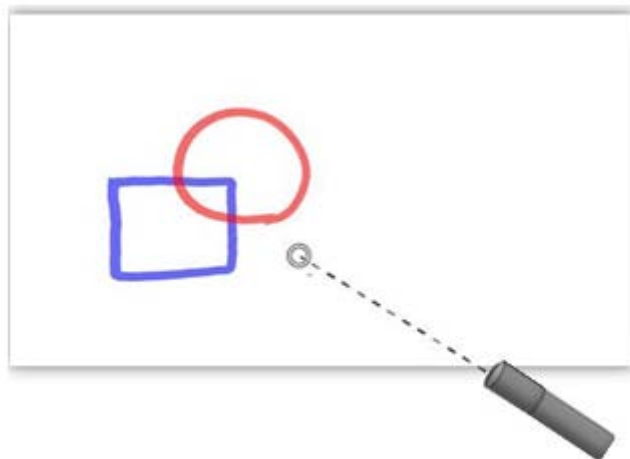
■ 電子ペンの特徴

電子ペンには２種類の使用方法があります。

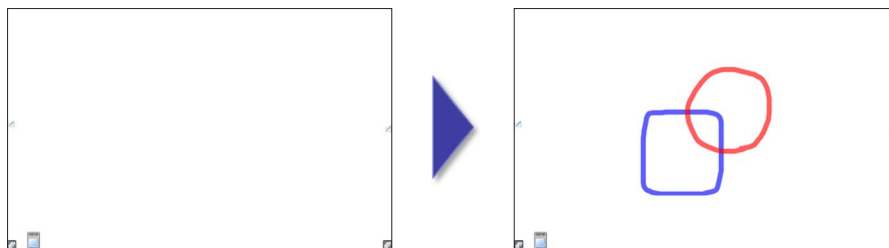
1.「電子ペンとして使う」

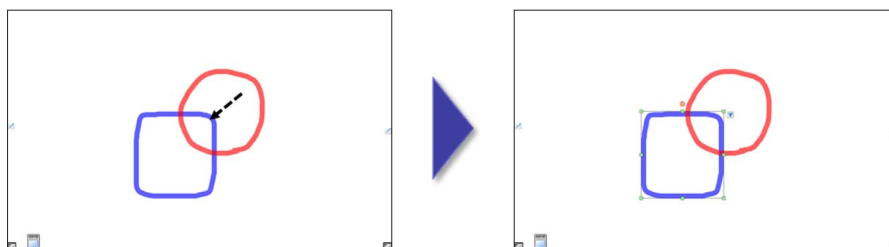
電子ペンでは、ペン先で画面をタッチすることで操作を行うことができます。

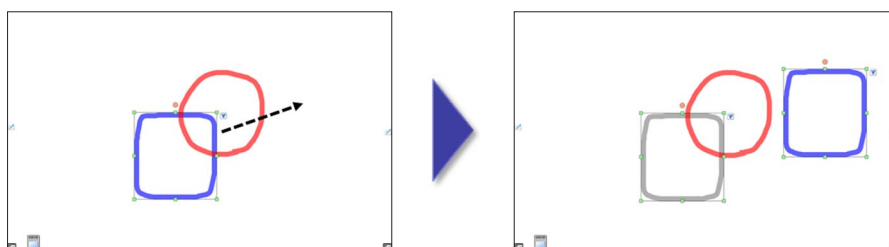
2.「リモートポインターとして使う」

電子ペンは光学アタッチメントを取り付ける事でリモートポインターとなり、離れた場所から操作を行うことができます。

電子ペンおよびリモートポインターを用いて次の操作を行うことができます。

• 描画

文字や図形を描画できます。

• 選択

メニューのボタンをタッチし、各種設定や機能を選択できます。
描画した文字や図形、ファイルから取り込んだ画像を選択できます。

• ドラッグ

選択しているオブジェクトを移動できます。

お知らせ

• 電子ペンの詳細につきましては、本体付属の取扱説明書をご覧ください。

■ 電子ペンの登録

電子ペンの登録は、ペアリングツールを使用して行います。

1. ペアリングツールを起動します。

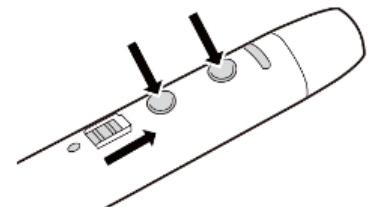
本ソフトウェアよりペアリングツールを起動すると、ペアリングや状態確認の実施に関わらず本アプリケーションが保持するペンの色情報が初期状態にリセットされます。

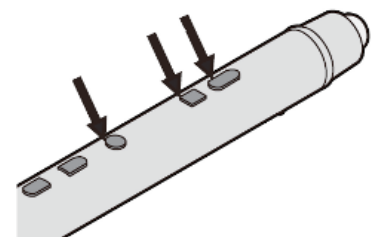
- 本ソフトウェアのメインメニューの「設定」ボタンをタップし、「設定」ダイアログを表示します。
- ［ペアリングツールの起動］をタップします。
- ペアリングツールが起動されます。

2. ［ペアリング］をタップします。

- 登録を中止する場合は、［終了］をタップしてください。

3. 登録したい電子ペンを電子ペンアダプターに近づけます。

PB1 ペンの場合は「ボタン 2（マウス／ペン切替ボタン）」と「ボタン 3（機能ボタン）」の両方を押しながら、電子ペンの電源を入れてください。

PB2 ペンの場合は「遠隔描画ボタン」と「遠隔消去ボタン」の両方を押しながら、電子ペンの電源を入れてください。

- ［中断］をタップすると、登録が中断されます。

4. 登録が完了するとペアリング完了画面が表示されますので、［OK］をタップします。

お知らせ

- 電子ペンアダプター 1 個につき、電子ペンを最大 4 本まで登録できます。
- すでに電子ペンが 4 本登録されている場合は、登録できません。
- 初めて電子ペンを登録する場合は、手順 3 のみを行ってください。2 本目以降の電子ペンを登録する場合は、手順 1 から行ってください。
- 登録した電子ペンは、再登録するまで他の電子ペンアダプターでは使用できなくなります。
- 複数のインタラクティブ プラズマディスプレイを近くで使用すると、電子ペンが誤動作する場合があります。
- 電子ペンの登録／全解除を行う場合は、近くのインタラクティブ プラズマディスプレイの電源を落として行ってください。
- 詳細につきましては、本体付属の取扱説明書をご覧ください。

■ 電子ペンの登録を解除する

電子ペンの登録解除は、ペアリングツールを使用して行います。

1. ペアリングツールを起動します。

本ソフトウェアよりペアリングツールを起動すると、ペアリングや状態確認の実施に関わらず本アプリケーションが保持するペンの色情報が初期状態にリセットされます。

- 本ソフトウェアのメインメニューの「設定」ボタンをタップし、「設定」ダイアログを表示します。
- ［ペアリングツールの起動］をタップします。
- ペアリングツールが起動されます。

2. ［ペアリング全解除］をタップします。

3. 電子ペンの登録解除が完了すると、ペアリング全解除完了画面が表示されます。

お知らせ

- 電子ペンの登録解除を行うと、登録済みの全ての電子ペンが解除されます。
- 電子ペンの登録解除を行うと、電子ペンを使用するときに再登録が必要になります。
- 詳細につきましては、本体付属の取扱説明書をご覧ください。

■ 電子ペンの登録状態を確認する

電子ペンの登録状態（ペアリング済み本数、ペアリング可能本数）確認は、ペアリングツールを使用して行います。

1. ペアリングツールを起動します。

本ソフトウェアよりペアリングツールを起動すると、ペアリングや状態確認の実施に関わらず本アプリケーションが保持するペンの色情報が初期状態にリセットされます。

- 本ソフトウェアのメインメニューの「設定」ボタンをタップし、「設定」ダイアログを表示します。
- ［ペアリングツールの起動］をタップします。
- ペアリングツールが起動されます。

2. ペアリング状態が表示されますので、確認後［終了］をタップします。

インタラクティブ機能搭載プロジェクターをご使用の場合

本ソフトウェアは、インタラクティブ機能搭載プロジェクター（以下プロジェクター）の下記モデルに対応しています。

プロジェクター	PT-CW331R PT-CX301R PT-TW331R PT-TX301R PT-TW341R

※ 2015 年 6 月時点の情報です。
最新の対応モデル情報は、弊社 WEB サイト (http://panasonic.biz/projector/support/application/whiteboard/index.html) の「■ホワイトボードソフトウェア」の「【対応プロジェクター】」欄を確認ください。

ソフトウェアの起動

本ソフトウェアは、インストールの必要はありません。実行ファイルから直接起動することができます。

1. **プロジェクターにコンピューターを映像ケーブルで接続します。**

2. **プロジェクターとコンピューターを USB ケーブルで接続します。**

3. **キャリブレーションを行います。**

4. **ご使用の OS が Windows 7 の場合は、SPDiver ユーティリティの設定を「タッチモード」に変更します。**

5. **プロジェクター付属のペンの電源を入れます。**

6. **「WhiteBoard.exe」ファイルをダブルタップします。**

お知らせ

- 本ソフトウェアを使用する前に SPDriver のインストールとキャリブレーションが必要です。詳細はプロジェクターのインタラクティブソフトウェア取扱説明書をご覧ください。
- ソフトウェアを起動する前に、必ずコンピューターの画面解像度を、本ソフトウェアがサポートする範囲内に設定してください。
  サポートしている画面の解像度は、「コンピューターのシステム環境」をご覧ください。
  (➔ 4 ページ)
  1. デスクトップを右クリックし、[画面の解像度] をクリックします。
  2. 「解像度」のドロップダウンリストをクリックし、解像度を選択します。

3.［適用］をクリックします。
4. 変更確認画面が表示されますので、［変更を維持する］をクリックします。

• Windows テーマ、または Windows Aero の設定変更は本ソフトウェアが起動していない状態で行ってください。起動中に設定を変更すると正常に動作しない場合があります。

ソフトウェアの終了

1. メニューの「アプリケーション終了」ボタンをタップします。

2. プロジェクター付属のペンの電源を切ります。

3. プロジェクターとコンピューターの接続を外します。

【Windows 8 をお使いのお客様】

• プロジェクター付属のペンで画面をタッチした時、エフェクトが気になる場合はコンピューター側の「視覚的フィードバックを表示する」設定を変更することをお勧めします。

1. デスクトップ画面でチャームを表示します。
2.［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックします。
3.［ハードウェアとサウンド］をクリックし、［ペンとタッチ］をクリックします。
※［ハードウェアとサウンド］が表示されない場合は、そのまま［ペンとタッチ］をクリックします。
4.「タッチ」タブを選択し、「タッチフィードバック」の「スクリーンをタッチしたときに視覚的フィードバックを表示する」のチェックを外します。
5.［OK］をクリックします。

タッチ操作

PB シリーズでオプションアクセサリーの専用タッチパネルをご使用の場合、LFB シリーズをご使用の場合またはプロジェクターをご使用の場合、本ソフトウェアをタッチ操作することができます。

本ソフトウェアには、ジェスチャーに対応したシングルモードと複数同時にタッチ操作が可能なマルチモードがあります。

■ シングルモード

タッチ操作による描画とジェスチャーに対応したモードに切り替えます。

お知らせ

- シングルモードでは、タッチ操作による描画は 1 つに制限されます。
- 複数のジェスチャー操作を同時に行うことはできません。
- 本ソフトウェアの起動直後はシングルモードに設定されます。
- プロジェクターでは付属のペン 2 本を使用してジェスチャー操作を行うことができます。この場合、メインメニューの「オブジェクト選択」ボタンをタップしてからジェスチャー操作を行ってください。（「オブジェクト選択」ボタンをタップしていない場合、不要な点が描画される可能性があります。）
- プロジェクターをご使用の場合、投写環境によってジェスチャー操作が行いづらい場合があります。

■ マルチモード

タッチ操作を複数同時に行うことができるモードに切り替えます。

お知らせ

- マルチモードはジェスチャーに対応していません。
- 描画色や太さなど機能の切り替えは、全てのタッチ操作に同時に反映されます。

■ ジェスチャーの種類

シングルモードでは下記ジェスチャーにより描画や操作ができます。

名称	操作イメージ	動作
2 本指での選択		■オブジェクトの選択 オブジェクト上で行った場合、オブジェクトを選択します。
2 本指でのフリックまたはドラッグ		■ページ移動 ホワイトボードモードのスクリーン上または PowerPoint 連携モードのスライド上での操作で、ページの送り戻しをします。 ■ページスクロール ホワイトボードモードでスクリーン拡大時にスクリーン上での操作でページをスクロールします。
ズームイン・ズームアウト		■オブジェクトの縮小・拡大 選択されたオブジェクト上での操作でオブジェクトを縮小・拡大します。 ■スクリーンの縮小・拡大 ホワイトボードモードのスクリーン上での操作でスクリーン表示を縮小・拡大します。 ・直線は縮小・拡大できません。（➔ 29 ページ）
回転		■オブジェクトの回転 選択されたオブジェクト上での操作でオブジェクトを回転します。 ・直線は回転できません。（➔ 29 ページ）

お知らせ

• 複数のジェスチャー操作を同時に行うことはできません。

■ ジェスチャー操作の設定

本ソフトウェアがサポートするタッチデバイスをご使用の場合、設定メニューにジェスチャー操作の設定を行うための「ジェスチャー」タブが表示されます。

ジェスチャーによる回転を有効にする	ジェスチャーによる回転を有効にしたい場合にはチェックを付けてください。
ジェスチャーによる黒板消しを有効にする	ジェスチャーによる黒板消しの機能を有効にしたい場合にはチェックを付けてください。

■ 黒板消し機能（LFB シリーズ専用）

LFB シリーズ付属の黒板消しや手のひらなど、一定以上のサイズで画面をタッチすることで、消しゴムとしてタッチ操作することができます。メニュー選択で消しゴムに切り替えることなく描画内容を消すことができるため、広い範囲を消す場合などに便利です。

黒板消し機能		一定以上のサイズで画面をタッチしてください。

お知らせ

- 黒板消し機能をご利用にならない場合、設定メニューの「ジェスチャー」タブで機能を無効にすることが可能です。

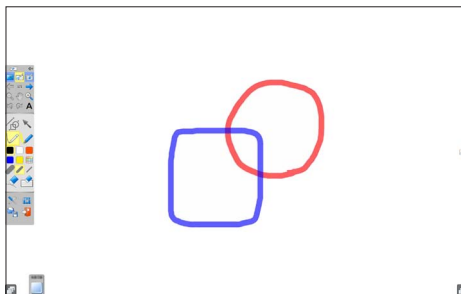
ソフトウェアの動作モードと画面構成

本ソフトウェアは、プレゼンテーションを効果的に行う為の３つの動作モードがあります。

お知らせ

• マルチモニター環境の場合は、プライマリーモニターのみサポートします。

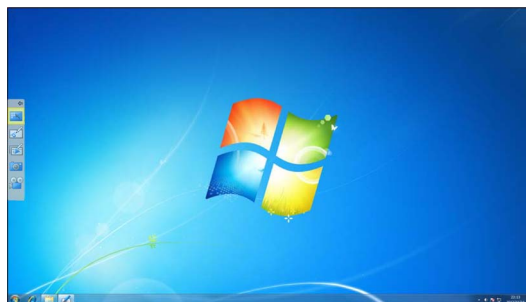
ホワイトボードモード

ホワイトボードとしてスクリーンに描画や画像の挿入ができます。またページを 100 ページまで増やすことができ、内容を保存することも可能です。

背景切替ボタンにて、ホワイトボードの背景色を切り替えることができます。詳しくは、背景切替の機能をご覧ください。（➔ 54 ページ）

お知らせ

• スクリーン背景を透明にした場合、画面に表示されているデスクトップや他のソフトウェアを操作することはできません。

デスクトップ操作モード

画面に表示されているデスクトップや、他のソフトウェアを操作することができます。

お知らせ

• このモードでは、スクリーンに描画できません。

PowerPoint 連携モード

PowerPoint のスライドショーを行いながら、スライドに文字や絵を書くことができます。

• 操作方法

1. メニューの「モード切り替え」ボタンをタップし、PowerPoint 連携モードに入ります。
2. PowerPoint ファイルを選択します。
   - 既に PowerPoint が起動している場合は、起動中の PowerPoint ファイル一覧が表示されます。
3. メニューの「ページ切り替え」ボタンで、スライドのページ切り替えができます。
4. メニューの「マーカー」ボタンや「ハイライトマーカー」ボタンをタップし、スライド上に文字や図形を描画します。
5. メニューの「PowerPoint連携終了」ボタンをタップ、PowerPoint連携モードを終了します。
   - スライドに描画した文字や図形は、PowerPoint ファイルに保存できます。

お知らせ

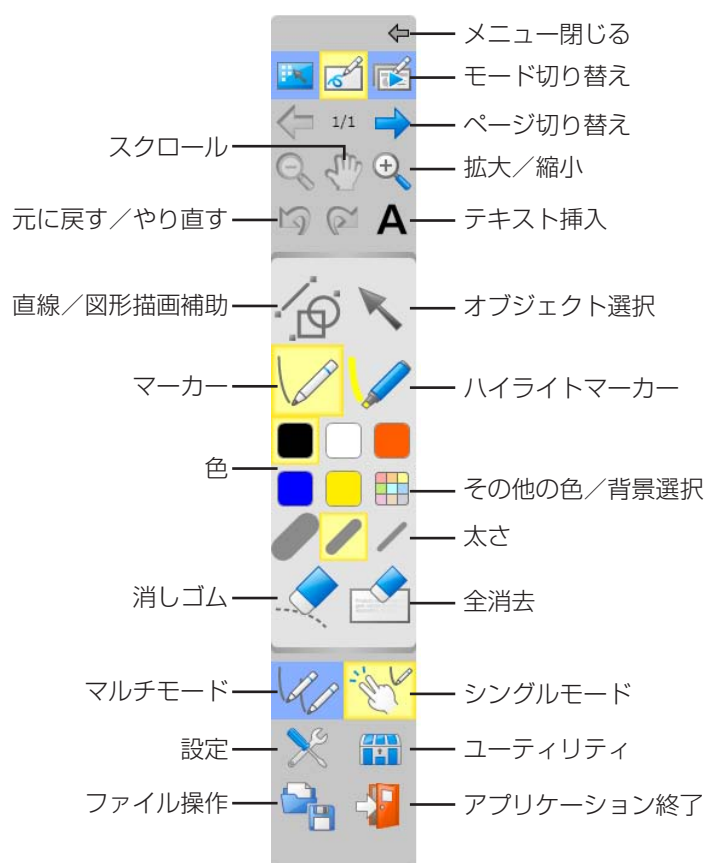
- コンピューターに PowerPoint 2007、2010（32bit 版）、2013（32bit 版）が、インストールされている必要があります。
- PowerPoint Viewer のみで PowerPoint 連携モードを使用する事はできません。
- 読み取り専用、または最終版プレゼンテーションに設定された PowerPoint は、PowerPoint 連携モードで使用することができますが、スライドに書いた文字や図形を保存する事はできません。
  但し PowerPoint 2007 では、読み取り専用に設定された PowerPoint を PowerPoint 連携モードで使用することができません。
- PowerPoint 2013 をご使用の場合、PowerPoint 連携モード開始時にパスワード付の PowerPoint にパスワードを入力することができません。予めパスワードを入力してファイルを開いた状態にしてから PowerPoint 連携を開始してください。
- PowerPoint 2013 をご使用の場合、スライドに設定された画面切り替え効果は無効となります。
- PowerPoint 2013 をご利用の場合、ページ数の多い PowerPoint ファイルを連携すると、「ドキュメントを開くのを中止するには ESC を押してください。」のメッセージが表示され、読み取り専用ファイルとして連携されることがあります。その場合、事前に PowerPoint ファイルを開いた状態で連携してください。

- Windows 8/8.1 で PowerPoint 2013 をご使用の場合、オーディオクリップを挿入した PowerPoint ファイルとの連携はサポートしていません。
- PB シリーズをお使いの場合、PB2 ペンの感圧センサーを有効にした描画は、PowerPoint ファイルに保存する際に感圧センサー無効相当の内容として保存します。

メニューについて

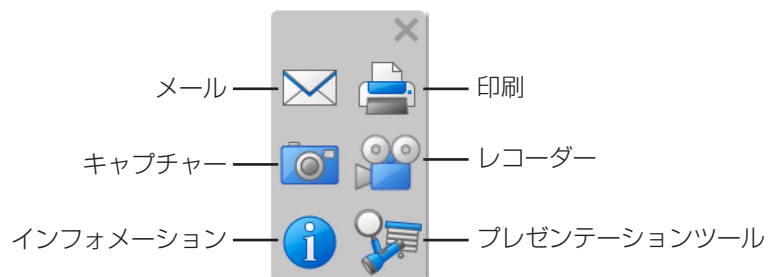
メニューには様々な機能ボタンがあり、マーカーの色や太さの変更や、印刷などを行うことができます。
メニューに含まれる機能は、動作モードにより異なります。

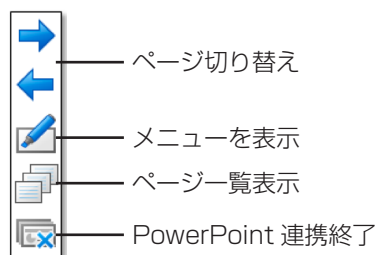
メインメニューの構成

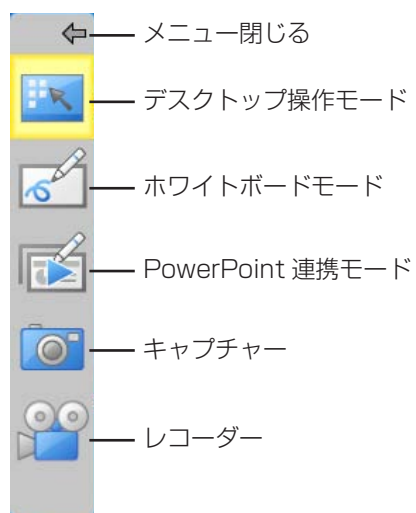
ホワイトボードモード、PowerPoint 連携モードで表示されるメニューです。
「メニュー閉じる」ボタンをタップすると、ホワイトボードモードではタブが表示され、PowerPoint 連携モードでは、PowerPoint 連携メニューが表示されます。メニューの表示位置（高さ）は、メニューの下端部をタッチして上下にドラッグして変更する事ができます。

お知らせ

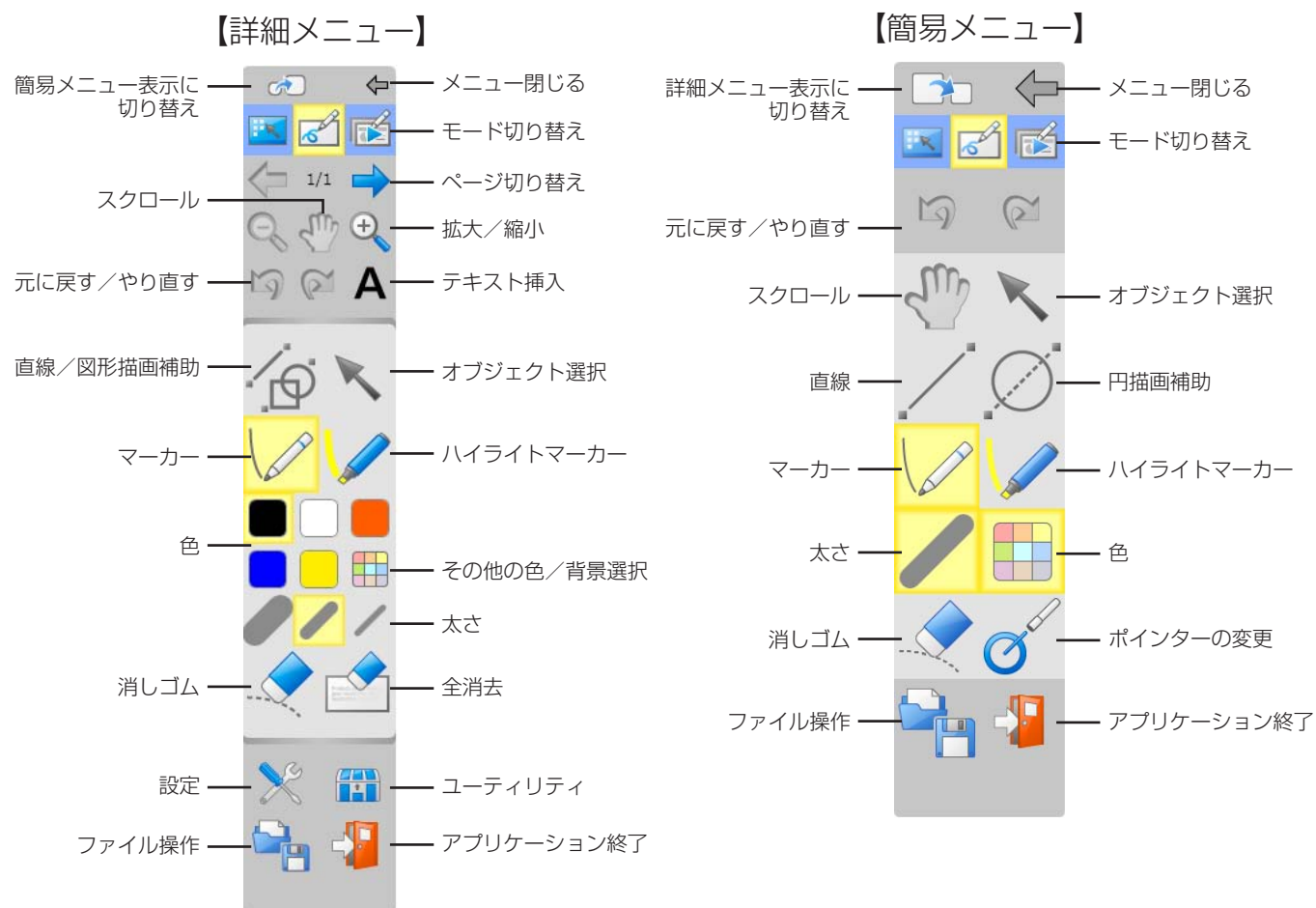
- シングルモード、マルチモードは PB シリーズでオプションアクセサリーの専用タッチパネルをご使用の場合、LFB シリーズをご使用の場合またはプロジェクターをご使用の場合のみ表示されます。

ユーティリティメニューの構成

メインメニューの「ユーティリティ」ボタンをタップすると表示されるメニューです。
ユーティリティメニューの操作方法は、「ユーティリティメニューの機能」をご覧ください。
(➔ 46 ページ)

PowerPoint 連携メニューの構成

PowerPoint 連携モードで、メインメニューの「メニュー閉じる」ボタンをタップすると、表示されるタブ形式のメニューです。
タブをタップすると、メインメニューが表示されます。
メニューの表示位置（高さ）は、メニューの「メニューを表示」部をタッチして上下にドラッグして変更する事ができます。
PowerPoint 連携メニューの操作方法は、「PowerPoint 連携メニューの機能」をご覧ください。
(➔ 49 ページ)

デスクトップメニューの構成

デスクトップ操作モードで表示されるメニューです。
メニューの表示位置（高さ）は、メニューの上下端部をタッチして上下にドラッグして変更する事ができます。
デスクトップメニューの操作方法は、「デスクトップメニューの機能」をご覧ください。
（➔ 50 ページ）

リモートポインター用簡易メニュー（PB シリーズ専用）

リモートポインターキット使用時、リモートポインターで離れた場所から操作するのに適したボタンサイズのメニュー表示です。
ホワイトボードモード、PowerPoint 連携モードで表示されるメインメニュー（詳細メニュー）の「簡易メニュー表示に切り替え」ボタンをタップすることで表示されます（詳細メニューの一部メニューは表示されません）。詳細メニューへ戻す場合は、簡易メニューの「詳細メニュー表示に切り替え」ボタンをタップします。

■ メニューを切り替え

詳細メニュー、簡易メニューに切り替えます。

ボタン	内容
	メニューを詳細メニューに切り替えます。
	メニューを簡易メニューに切り替えます。

メインメニューの機能

■ メニューを閉じる

メニューを閉じます。

■ メニューを表示

メニューを表示します。

■ モード切り替え

デスクトップ操作モード、ホワイトボードモード、PowerPoint 連携モードに切り替えます。

ボタン	モード
	デスクトップ操作モード
	ホワイトボードモード
	PowerPoint 連携モード

■ ページ切り替え

ページ更新を行います。

お知らせ

• ホワイトボードモードの場合は、スクリーンを次のページまたは前のページに切り替えます。
• PowerPoint 連携モードの場合は、次のまたは前のスライドを表示します。

■ 拡大／縮小

スクリーンを１００%～３００%まで、２５%刻みで拡大縮小します。

お知らせ

• 画面を拡大した場合、自動的にスムージング機能は有効になります。

■ スクロール

スクリーンが拡大されている場合、スクリーンを自由にスクロールします。

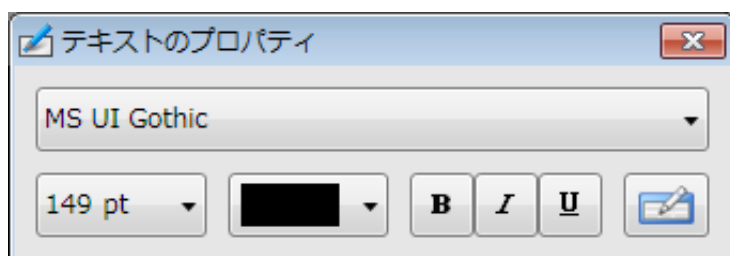
■ 元に戻す／やり直す

描画などの操作を元に戻したり、戻した操作をもう一度やり直します。
但し、ホワイトボードのページ追加、削除、複製については元に戻したり、やり直すことはできません。

お知らせ

- 過去の操作５０件まで、元に戻せます。

■ A テキストの挿入

テキストを挿入します。
画面をタップして挿入位置を決定すると「テキストのプロパティ」パネルが表示されます。このパネルからテキストの各種設定変更が可能です。

項目	内容
フォント名称	フォント種類を選択します。
フォントサイズ	フォントサイズを指定します。
フォント色	フォント色を選択します。
B	太字に設定／解除します。
I	斜体に設定／解除します。
U	下線付に設定／解除します。
	タブレット PC 入力パネルを表示します。

お知らせ

- ご使用のコンピューター環境とフォントの組み合わせによっては、文字が正常に表示されない場合があります。
- PB シリーズをご使用の場合、「テキストのプロパティ」の内容は電子ペン毎に記憶され、次回テキスト挿入および文字認識時に引き継がれます。但し、設定ダイアログの文字認識タブの内容を変更した場合はその内容が全ての電子ペンに反映されます。
- TabletPC 入力パネルをお使いの場合、[ツール] → [トピックの検索] と [ツール] → [オプション] の操作は、デスクトップ操作モードで行ってください。

■ 直線 / 図形描画補助

直線または図形を描画します。

ボタン	内容
	直線を描画します。 直線は 15 度ずつ傾きを変えた直線で描画されます。
	円を描画します。 水平・垂直への操作で直線が描画されます。
	四角形を描画します。 水平・垂直への操作で直線が描画されます。
	三角形を描画します。 水平・垂直への操作で直線が描画されます。

お知らせ

- 直線はジェスチャー操作による縮小・拡大および回転に対応していません。

■ オブジェクト選択

描画された文字や図形、画像を選択し、移動、拡大縮小、回転を行います。
選択はオブジェクト単位で行います。(オブジェクトとは、一筆書きされた線や、取り込まれた画像を指します。)

オブジェクトの選択

オブジェクトの選択方法は2種類あり、選択するとオブジェクトは点線で四角に囲まれます。

- **オブジェクトをタッチする**
  オブジェクトをタッチすることで選択できます。
  続けて別のオブジェクトをタッチすると、タッチしたオブジェクト以外の選択は解除されます。
- **オブジェクトを囲む**
  オブジェクトが存在しない個所をタッチしドラッグすることで選択範囲を表す線が表示されます。
  この線で完全に囲まれたオブジェクトが選択されます。

オブジェクトの移動

選択したオブジェクトの点線内をタッチしたまま、ドラッグすると移動できます。

オブジェクトの拡大縮小

選択したオブジェクトの点線上にある四角( )をドラッグすると、オブジェクトを拡大縮小できます。

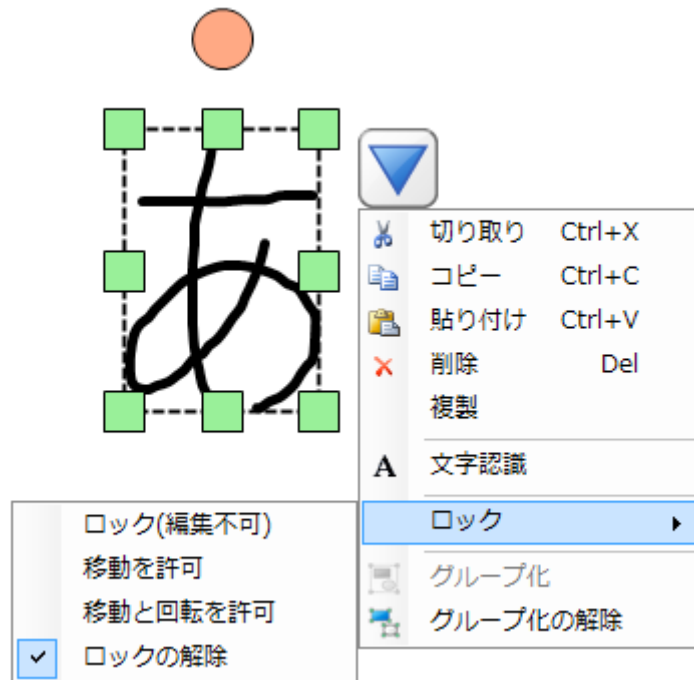
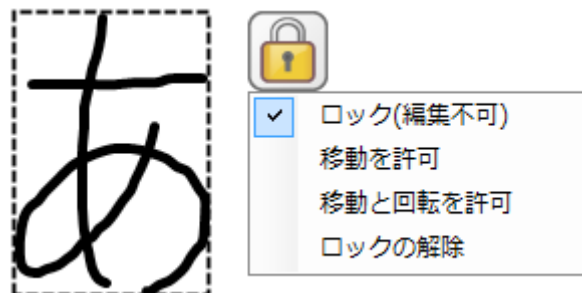
オブジェクトの回転

選択したオブジェクトの点線上にある丸( )をドラッグすると、オブジェクトを回転できます。

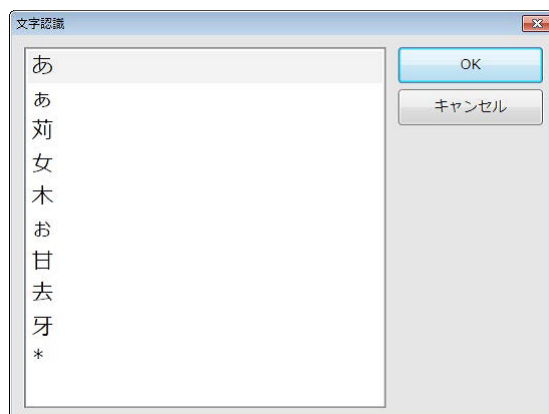
オブジェクトの選択解除

描画されていない個所をタッチすると、選択が解除されます。

オブジェクト操作メニュー

選択したオブジェクトの「オブジェクト操作メニュー」ボタン ▼ をタップするとオブジェクト操作メニューが表示されます。

また選択したオブジェクトがロック状態の場合には「オブジェクト操作メニュー」ボタン ▼ が 🔒 に変化します。タップすると下記のメニューが表示されます。

オブジェクト操作メニューからは下記の操作がご利用頂けます。

- **切り取り**
  選択されているオブジェクトを切り取ります。
- **コピー**
  選択されているオブジェクトをコピーします。
- **貼り付け**
  以前に切り取り、またはコピーしたオブジェクトを貼り付けます。
- **削除**
  選択されているオブジェクトを削除します。
- **複製**
  選択されているオブジェクトを複製します。

・**文字認識**
選択した自由線オブジェクトをテキスト変換する候補リストが表示されます。任意のテキスト候補を選択し [OK] をタッチするとテキストに変換されます。

・**テキストの編集**
「テキストのプロパティ」パネルが表示され、選択したテキストオブジェクトの再編集が可能となります。
「テキストのプロパティ」パネルの操作方法は、「テキストの挿入」をご覧ください。
（➔ 28 ページ）

・**ロック**
- **ロック（編集不可）**
選択されているオブジェクトの全ての編集操作が不可能となります。

- **移動のみ許可**
選択されているオブジェクトの移動を除く全ての編集操作が不可能となります。

- **移動と回転を許可**
選択されているオブジェクトの移動と回転を除く全ての編集操作が不可能となります。

- **ロック解除**
選択されているオブジェクトの全ての編集操作が可能となります。

・**グループ化**
同時に選択されている複数のオブジェクトを結合して 1 つのオブジェクトにできます。

・**グループ化解除**
選択したオブジェクトのグループ化が解除されます。

お知らせ
• 複数のオブジェクトを同時に選択した場合、拡大縮小、回転は行えません。
※ グループ化されたオブジェクトは 1 つのオブジェクトとして扱われるため、拡大縮小、回転が行えます。
• グループ化したオブジェクトは、一定のサイズ未満に縮小するとグループ化を解除することができません。解除する場合は、グループ化したオブジェクトのサイズを一定以上に拡大してください。なお、解除できない状態ではグループ化解除メニューが無効を示すグレー色になります。

- OS の制限等により文字認識がご利用できない場合には「文字認識」メニューは操作できなくなります。
- オブジェクト操作メニューの切り取り、コピー、削除、複製、ロックについては選択されている全てのオブジェクトに対し作用します。

オブジェクト貼り付けメニュー

オブジェクトを選択していない状態で、オブジェクトのない場所をタップした場合にはオブジェクト貼り付けメニューが表示されます。

- **貼り付け**

  以前に切り取り、またはコピーしたオブジェクトを貼り付けます。

お知らせ

- クリップボード上に貼り付け可能なデータがない場合には選択できません。
- オブジェクト貼り付けメニューの表示中にはキーボード操作を行うことはできません。

■ マーカー

文字や図形などの自由線を描画します。

お知らせ

- スムージング処理有効の場合、書き込む速度によって、描画された自由線が歪む場合があります。
  ※「設定」ダイアログでスムージング処理の有効／無効を選択することができます。

■ ハイライトマーカー

半透明色の自由線を描画します。
描画した文字や図形など、強調したい個所を塗ることに適しています。

お知らせ

- スムージング処理有効の場合、書き込む速度によって、描画された自由線が歪む場合があります。
  ※「設定」ダイアログでスムージング処理の有効／無効を選択することができます。

■ 色

描画色を切り替えます。

■ その他の色／背景選択

描画色、またはスクリーンの背景の色や種類を切り替えます。

お知らせ

- 背景が透明の場合、画面にデスクトップや他のソフトウェアが表示されますが操作はできません。
- デスクトップを操作する場合は、デスクトップ操作モードで行ってください。

■ 太さ

選択中のマーカー、ハイライトマーカー、消しゴムの太さを変更します。

■ 消しゴム

スクリーンに描画された文字や図形を削除します。

お知らせ

- 削除は、一筆書きされた線単位で行われます。
  ※「設定」ダイアログで自由線の部分消去を有効／無効に選択することができます 。
  ※ 直線／図形描画補助で描画したオブジェクト、テキストは、部分消去できません。
- 部分消去または線などが多く描画されている場合、消しゴムの操作が遅くなることがあります。
- 画像は消しゴムで削除する事ができません。オブジェクト操作メニューの削除を用いてください。

■ 全消去

スクリーンに描画された文字や図形を全て削除します。
但し、ロック状態の文字、図形、画像、テキストは削除せず残ります。

■ マルチモード（タッチ操作専用）

タッチ操作を複数同時に行うことができるモードに切り替えます。

お知らせ

- マルチモードはジェスチャーに対応していません。
- 描画色や太さなど機能の切り替えは、全てのタッチ操作に同時に反映されます。

■ シングルモード（タッチ操作専用）

タッチ操作による描画とジェスチャーに対応したモードに切り替えます。

お知らせ

- シングルモードでは、タッチ操作による描画は 1 つに制限されます。
- 複数のジェスチャー操作を同時に行うことはできません。
- 本ソフトウェアの起動直後はシングルモードに設定されます。
- プロジェクターでは付属のペン 2 本を使用してジェスチャー操作を行うことができます。この場合、メインメニューの「オブジェクト選択」ボタンをタップしてからジェスチャー操作を行ってください。（「オブジェクト選択」ボタンをタップしていない場合、不要な点が描画される可能性があります。）
- プロジェクターをご使用の場合、投写環境によってジェスチャー操作が行いづらい場合があります。

設定

ソフトウェア全体に関連する設定を行います。
[OK] ボタンをタップすると設定した内容が反映されます。

• 一般タブ

本ソフトウェア全般に関わる一般的な設定を行います。

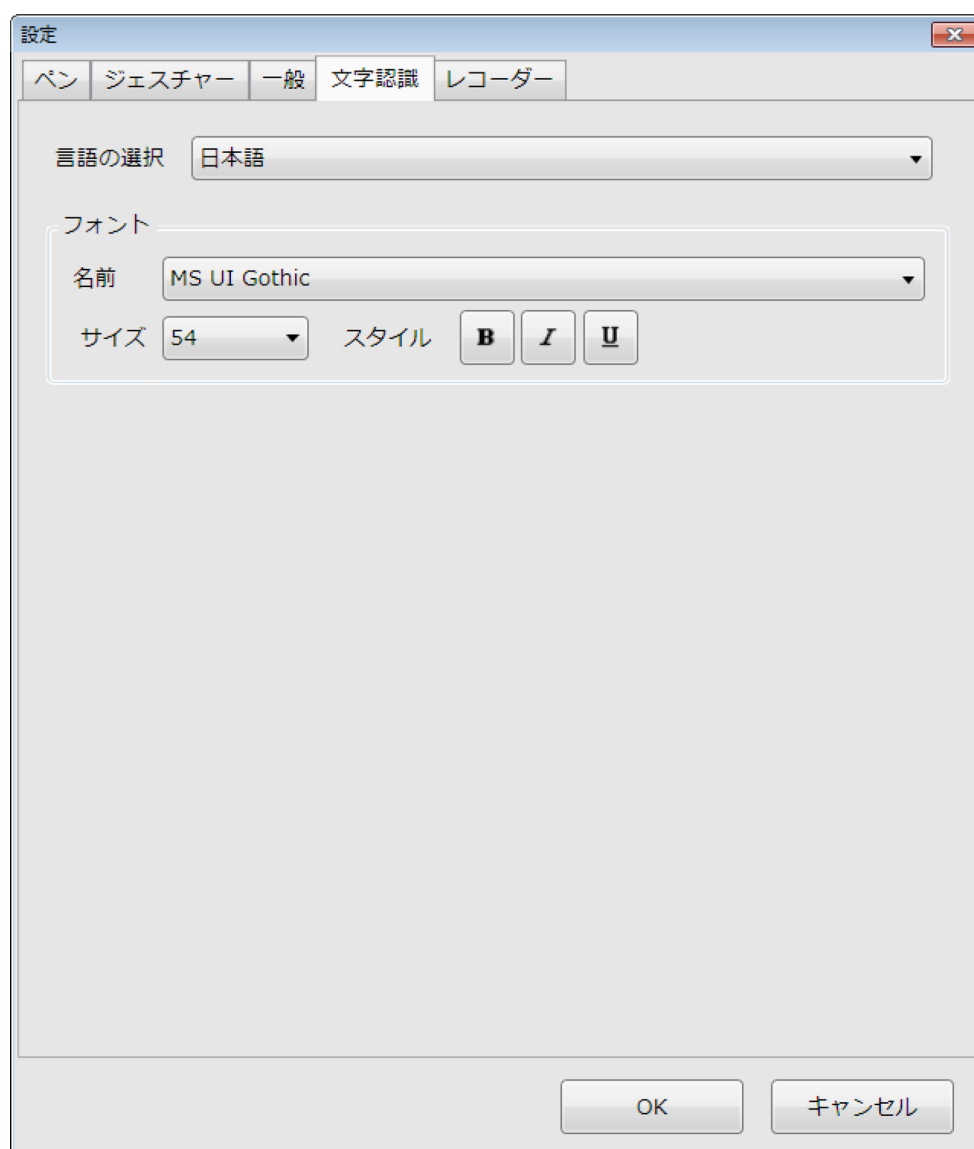
メニューの表示位置	片側表示：メニューを画面の左右どちらかに表示すると、もう片方のメニューを閉じます。 両側表示：メニューを画面の左右両方に表示できます。
保存先の設定	本ソフトウェアで生成されるファイルの保存先フォルダを指定できます。
起動時モード	ホワイトボードモード　：本ソフトウェアをホワイトボードモードで起動します。 デスクトップ操作モード：本ソフトウェアをデスクトップ操作モードで起動します。
ホワイトボード背景色のマスター設定	プロジェクト開始時および新規ページ追加時のスクリーン背景の色を設定します。
描画の設定	自由線を自動的にグループ化する： 一定時間間隔内に書かれた複数の自由線を自動的にグループ化したい場合はチェックを付けてください。 自由線のスムージング処理を有効にする： 描画した自由線を滑らかにする場合は、チェックを付けてください。 自由線の部分消去を有効にする： 自由線を部分的に消去したい場合は、チェックを付けてください。
カラーユニバーサルデザインモードを有効にする	カラーユニバーサルデザインに対応した色パレットや描写ツールを使用する場合は、チェックを付けてください。カラーユニバーサルデザインを有効または無効に切り替えた時に、自動で再起動が行われます。
UI アニメーションを有効にする	メニューの表示切り替えを、アニメーションで行う場合は、チェックを付けてください。
ファイル / フォルダ選択時にタブレット PC 入力パネルを表示する	ファイルやフォルダ選択時にタブレット PC 入力パネルを表示する場合は、チェックを付けてください。
最小化したメニューを自動的に隠す	【PB シリーズ専用】メニューを最小化後に自動的に隠したい場合はチェックを付けてください。再表示したい場合はメニューがあった付近に電子ペンを近づけてください。
プロジェクトの自動保存を行う	回復用データとしてプロジェクトの自動保存を行う場合はチェックを付けてください。 本ソフトが異常終了した場合などの次回起動時に、自動保存したプロジェクトから作業内容を回復できることがあります。

お知らせ

- 「ファイル / フォルダ選択時にタブレット PC 入力パネルを表示する」のチェックを外した場合でも、画面の端をタッチする事でタブレット PC 入力パネルが表示される場合があります。この場合、タブレット PC 入力パネルの「ツール」→「オプション」より「入力パネルタブを使用する」のチェックボックスを外す事で、表示しない事が可能です。
- プロジェクトの自動保存は「プロジェクト保存」の代わりに使用する機能ではないため、自動保存を行っている場合でも、作業を終了するときにプロジェクト保存を行う必要があります。
- タッチ操作のマルチモード時は「自由線を自動的にグループ化する」は無効となります。

- 「カラーユニバーサルデザインとは」
  色の見え方が一般と異なる（先天的な色弱、加齢による白内障、緑内障など）人にも情報がきちんと伝わるよう、色使いに配慮したデザインを言います。
- PB2 シリーズのオプションアクセサリーの専用タッチパネル、LFB シリーズまたはプロジェクターをご使用の場合は、「最小化したメニューを自動的に隠す」は無効となります。

• **文字認識タブ**

テキストの挿入および文字認識時の初期設定を行います。

言語の選択		文字認識させる対象言語を指定します。
フォント	名前	テキストのフォントの種類を選択します。
	サイズ	テキストのフォントサイズを指定します。
	B	テキストを太字に設定／解除します。
	I	テキストを斜体に設定／解除します。
	U	テキストを下線付きに設定／解除します。

お知らせ

- オブジェクト操作メニューの文字認識時は、オブジェクトのサイズからフォントサイズが決定されます。
- OS の制限等により文字認識がご利用できない場合には「言語の選択」は操作できなくなります。

• **レコーダータブ**

レコーダーに関する設定を行います。

録画開始時に操作パネルを最小化する	録画を開始した際に、レコーダーの操作パネルを自動的に最小化したい場合にチェックを付けてください。
ファイル形式	保存する動画ファイルのファイル形式を指定します。AVI またはWMV から選択してください。
録画モード	保存する動画の画質を指定します。画質優先、バランスまたは、録画時間優先から選択してください。
音声を記録する	保存する動画に音声を含めたい場合にはチェックを付けてください。
保存先の設定	動画が保存される場所を設定します。
フォルダ選択	動画の保存先を選択できます。
空き容量	保存先のディスク空き容量です。録画の目安にしてください。
予測録画可能時間	指定された設定で録画を行った場合の最大予想録画時間です。録画の目安にしてください。

お知らせ

- 音声を記録するためには、お使いのコンピューターにマイクなどの録音装置が必要になります。
- 保存先の設定にリムーバブルディスクなどローカルハードディスク以外を選択すると、十分な書き込み速度が得られず正常に録画できない場合があります。

- **ペンタブ（PB シリーズ専用）**

PB シリーズ用電子ペンをご使用の場合、設定メニューに電子ペンについての設定を行うための「ペン」タブが表示されます。

<table>
<tr><td rowspan="2">ペンボタン機能拡張</td><td colspan="2">PB1 ペンの場合
　ボタン 2（ペン / マウス切替ボタン）に割り当てる機能を選択します。
　ボタン 3（機能ボタン）に割り当てる機能を選択します。
PB2 ペンの場合
　プラスボタンに割り当てる機能を選択します。
　マイナスボタンに割り当てる機能を選択します。

　ページ送り / ページダウン：ページを送ります。
　ページ戻し / ページアップ：ページを戻します。
　拡大：スクリーンを拡大します。
　縮小：スクリーンを縮小します。
　なし：拡張機能を無効にします。</td></tr>
<tr><td>ペンの色設定機能を有効にする</td><td>PB1 ペンで光学アタッチメントを取り付けていない場合に、ボタン 3（機能ボタン）で色を切り替えます。
PB2 ペンではご利用できません。</td></tr>
<tr><td>感圧センサー機能設定</td><td colspan="2">感圧センサーを有効にする：強弱のついた線を描画します。
感圧描画のスムージング処理を有効にする：感圧描画した文字のラインを滑らかにする場合は、チェックを付けてください。
※ 感圧センサー機能を有効にすると、描画が遅くなることがあります。
※ 感圧に対応した PB2 ペンのみ使用することができます。</td></tr>
<tr><td>ペアリングツールの起動</td><td colspan="2">電子ペンの登録／解除／登録状態確認を行う「ペアリングツール」を起動します。</td></tr>
</table>

お知らせ

- 「ペンボタン機能拡張」の「ペンの色設定機能を有効にする」は PB1 ペンで光学アタッチメントを取り付けていない場合にご使用できます。
  PB2 ペンではご使用できません。
  詳しくは「インタラクティブプラズマディスプレイをご使用の場合」をご覧ください。
  （➔ 7 ページ）
- 電子ペンに光学アタッチメントを取り付けてリモートポインターとして使用した場合は、感圧センサー機能を使用できません。
- PB ペンの感圧センサーを有効にした描画は、PowerPoint ファイルに保存する際に感圧センサー無効相当の描画として保存します。
- 感圧センサー機能はマーカーの自由線のみ有効です。
- 感圧センサー機能設定のスムージング処理を有効にした場合、書き込む速度、強弱によって、描画された自由線が歪む場合があります。
- 感圧に対応した、PB2 ペン使用時のみ有効です。
  詳しくは「インタラクティブプラズマディスプレイをご使用の場合」をご覧ください。
  （➔ 7 ページ）
- 電子ペンのペアリング設定方法について、詳しくは「電子ペンの登録」をご覧ください。
  （➔ 12 ページ）

■ ユーティリティ

ユーティリティメニューを表示します。(➔ 24 ページ)

■ ファイル操作

「ファイル操作」ボタンをタップすると、下記のサブメニューが表示されます。
サブメニューから任意の保存形式を選ぶことで、スクリーンに描画された文字や図形を、様々な形式で保存することができます。

サブメニュー項目	内容	ファイル形式	対象ページ
画像ファイル読み込み	画像を、ファイルから読み込みスクリーンに挿入します。	JPEG・PNG・BMP 形式	ホワイトボードモードの現在のページ
新規プロジェクト作成	新しいプロジェクトを作成します。	WBP・WBPX ファイル形式	ホワイトボードモードの全ページ
プロジェクト読み込み	ホワイトボードモードで描画されたデータを読み込みます。	WBP・WBPX ファイル形式	ホワイトボードモードの全ページ
プロジェクト上書き保存	ホワイトボードモードで描写されたデータを上書き保存します。	WBPX ファイル形式	ホワイトボードモードの全ページ
プロジェクト名前を付けて保存	ホワイトボードモードで描画されたデータを保存します。	WBPX ファイル形式	ホワイトボードモードの全ページ
PDF 保存(全てのページ)	現在のモードで描画されたデータを PDF に変換して保存します。	PDF	選択されたモードで描画された全てのページ
PDF 保存(現在のページ)	現在のモードで描画されたデータを PDF に変換して保存します。	PDF	選択されたモードの現在のページ
画像保存(現在のページ)	現在のモードで描画されたデータを画像に変換して保存します。	JPEG・BMP 形式	選択されたモードの現在のページ

お知らせ

- 各種ファイルは、メインメニューの［設定］→［一般］で指定された保存先に保存されます。
- ページ毎に合計 50MB まで画像を挿入できます。

■ アプリケーション終了

本ソフトウェアを終了します。

ユーティリティメニューの機能

■ メール

既定の電子メールソフトを起動します。
現在の動作モードで描画された全てのページから PDF ファイルを作成し、電子メールソフトに添付します。

お知らせ

- 描画されていないページは、PDF に変換されません。
- PDF ファイルは、メインメニューの［設定］→［一般］で指定された保存先に生成されます。

■ 印刷

現在の動作モードで表示されているページを印刷します。

通常印刷	「通常使うプリンター」に設定されているプリンターに出力します。
詳細印刷	ＯＳ標準の印刷ダイアログを利用して、手動で印刷を行います。

お知らせ

- 画面キャプチャーを許可しない他のソフトウェアが存在する場合、正常に画面をキャプチャーすることができないため、正常に印刷できない場合があります。
- 「詳細印刷」の場合、OS 標準の印刷ダイアログに表示されているページ数に関わらず、現在のページのみの印刷となります。
- プリンターや、プリンタードライバーのバージョンによっては、プリンター情報が取得できず、正しく印刷できない場合があります。

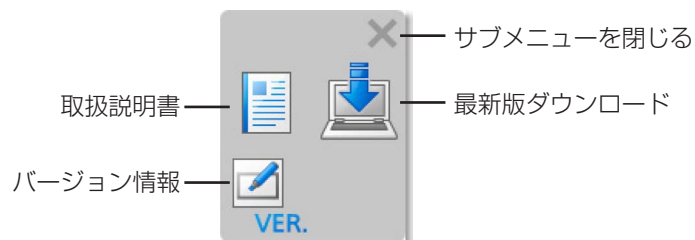
■ キャプチャー

キャプチャーの操作パネルを表示します。表示されたパネルを操作することにより、キャプチャーを行うことができます。
キャプチャーの操作方法は、「キャプチャーの機能」をご覧ください。（➔ 53 ページ）

■ レコーダー

レコーダー操作パネルを表示します。レコーダー操作パネルを操作することにより、動画保存の操作を行うことができます。
レコーダーの操作方法は、「レコーダーの機能」をご覧ください。（➔ 52 ページ）

■ インフォメーション

インフォメーションメニューを表示します。

取扱説明書

取扱説明書を PDF で表示します。

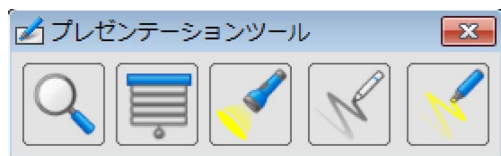
最新版ダウンロード

本ソフトウェアのサポートサイトを WEB ブラウザーに表示します。

バージョン情報

本ソフトウェアのバージョン情報を表示します。
また、「最新版ダウンロード」ボタンを押すことで本ソフトウェアのサポートサイトを WEB ブラウザーに表示します。

■ プレゼンテーションツール

プレゼンテーション操作パネルを表示します。
プレゼンテーション操作パネルから各プレゼンテーションツールを起動することができます。

ボタン	内容
拡大鏡	拡大鏡を表示します。 サイズの変更　：ウィンドウの端をドラッグ＆ドロップ 表示位置の移動　：ウィンドウをドラッグ 拡大率の変更　：左上の 🔍 を押し、拡大率を選択します
スクリーンシェード	画面全体を覆うシェードを表示します。 サイズの変更　：上下左右のハンドル付近をドラッグ＆ドロップ 表示位置の移動　：シェード中央をドラッグ ・シェード上を始点とした描画およびオブジェクト操作はできません。 ・スポットライトが表示されている場合は、スポットライトを終了します。
スポットライト	範囲選択で指定した領域（スポット）を除いた部分を覆うシェードを表示します。 サイズの変更　：スポットの端をドラッグ＆ドロップ 表示位置の移動　：シェード部分をドラッグ ・シェード上を始点とした描画およびオブジェクトの操作はできません。 ・スクリーンシェードが表示されている場合は、スクリーンシェードを終了します。
フェードアウトマーカー	描画内容が一定時間経過後にフェードアウトするフェードアウトマーカーに切り替わります。 ・解除する場合は、他の描画ツールを選択します。 ・消しゴムでの消去、オブジェクト選択、プロジェクト保存は行えません。 ・デスクトップ操作モード時はご利用できません。
フェードアウトハイライトマーカー	描画内容が一定時間経過後にフェードアウトするフェードアウトハイライトマーカーに切り替わります。 ・解除する場合は、他の描画ツールを選択します。 ・消しゴムでの消去、オブジェクト選択、プロジェクト保存は行えません。 ・デスクトップ操作モード時はご利用できません。

お知らせ

- スクリーンシェードおよびスポットライトは本ソフトウェア自身のメニューも覆います。メニュー操作を行う場合は、メニューが見えるようにシェードの位置を調整してください。
- Windows 7 で Windows Aero を無効にすると、拡大が正しく録画されません。

PowerPoint 連携メニューの機能

■ ページ切り替え

次のまたは前のスライドを表示します。

■ 先頭へ戻る

先頭のスライドに戻ります。

■ ページ一覧

画面下部にページ一覧をサムネイル表示します。
表示された各ページにタッチすると該当のページに表示が切り替わります。
ページ一覧の操作方法は、「ページ一覧の機能」をご覧ください。（➔ 51 ページ）

■ PowerPoint 連携終了

PowerPoint 連携モードを終了します。

■ レコーダー（録画中）

レコーダーで録画中のみ表示されます。ボタンを押す事により録画を一時停止し、レコーダー操作パネルを開きます。
レコーダーの操作方法は、「レコーダーの機能」をご覧ください。（➔ 52 ページ）

お知らせ

- PowerPoint 連携モードを終了すると、描画した文字や図形を、PowerPoint ファイルに保存するか確認する為のダイアログが表示されます。
- PowerPoint ファイルに上書き保存を行わない場合は、メインメニューの［設定］→［一般］で指定された保存先に、元ファイル名に連番をつけたファイル名で保存されます。

デスクトップメニューの機能

■ メニューを閉じる

メニューを閉じます。

■ モード切り替え

デスクトップ操作モード、ホワイトボードモード、PowerPoint 連携モードに切り替えます。

ボタン	モード
	デスクトップ操作モード
	ホワイトボードモード
	PowerPoint 連携モード

■ キャプチャー

キャプチャー操作パネルを表示します。表示されたパネルを操作することにより、キャプチャーを行うことができます。
キャプチャーの操作方法は、「キャプチャーの機能」をご覧ください。(➔ 53 ページ)

■ レコーダー

レコーダー操作パネルを表示します。レコーダー操作パネルを操作することにより、動画保存の操作を行うことができます。
レコーダーの操作方法は、「レコーダーの機能」をご覧ください。(➔ 52 ページ)

■ レコーダー（録画中）

レコーダーで録画中のみ表示されます。録画を一時停止して、レコーダー操作パネルを開きます。
レコーダーの操作方法は、「レコーダーの機能」をご覧ください。(➔ 52 ページ)

ページ一覧の機能

ページ一覧ボタン

画面下部にページ一覧をサムネイル表示します。

表示された各ページにタッチすると該当のページに表示が切り替わります。
ホワイトボードモードではページ一覧上の選択中のページに「ページ操作メニュー表示」ボタン が表示されます。

項目	内容
ページの削除	選択されたページを削除します。
ページの複製	選択されたページを複製し、該当するページの次へ挿入します。
新規ページの追加	選択されたページの次に新規ページを挿入します。

タッチしたページはドラッグ＆ドロップする事によってページ順を変更することができます。
ページ一覧に表示しきれていないページはページ一覧の左右にある三角矢印をタップすることにより、表示させることができます。また、三角をタップし続ける事により、連続してページを送り、戻すことができます。

お知らせ

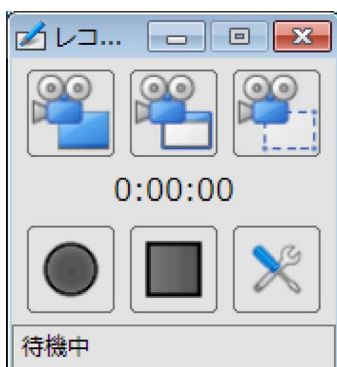
- 複数のタッチ操作で同時にページ一覧を操作することはできません。
- PB シリーズをご使用の場合、同様に複数の電子ペンで操作することはできません。
- ジェスチャーでページ一覧を操作することはできません。

レコーダーボタン

レコーダー操作パネルを表示します。

録画中のレコーダーボタンは に変わり、ボタンを押すと録画が一時停止し、レコーダー操作パネルを開きます。

レコーダーの機能

レコーダー操作パネルで選択した画面領域を動画として録画／保存します。

ボタン	内容
	画面全体の録画を開始します。
	ウィンドウのある領域の録画を開始します。 録画したいウィンドウを指定すると録画が開始されます。 録画開始後にウィンドウを移動しても、指定した領域が録画され続けます。
	範囲選択で指定した領域内の録画を開始します。 録画したい領域を指定してください。ドラッグを解除すると録画が開始されます。
０：００：００	録画が開始されてからの経過時間を表示します。
	録画を一時停止します。 （操作パネルの最小化機能が無効の場合に録画中のみ表示されます。）
	録画を再開します。
	録画を停止して保存します。
	設定を行います。

お知らせ

- 録画開始時に操作パネルを最小化する機能をご利用にならない場合、設定メニューの「レコーダー」タブで機能を無効にすることが可能です。
- 録画中にレコーダー操作パネルを最小化しても、録画は中断せず続行します。なお、最小化されたレコーダー操作パネルを再表示するにはレコーダーボタンを押してください。
- Windows 7 で Windows Aero を無効にすると、拡大鏡が正しく録画されません。

キャプチャーの機能

キャプチャー操作パネルから画面を画像としてホワイトボードのページやファイルに保存することができます。

ボタン	内容
	画面全体をキャプチャーします。
	選択したウィンドウをキャプチャーします。
	指定した領域をキャプチャーします。
保存先	キャプチャーした画像の保存先を以下から選択します。 ・新しいページ 　ホワイトボードモードに新規ページを挿入し、キャプチャーされた画像を貼り付けます。 ・現在のページ 　ホワイトボードモードで選択されているページにキャプチャーされた画像を貼り付けます。 ・クリップボード 　キャプチャーされた画像をクリップボードへ格納します。 ・ファイル保存（JPEG） 　キャプチャーした画像を JPEG 形式の画像ファイルとして保存します。 ・ファイル保存（BMP） 　キャプチャーした画像をビットマップ形式の画像ファイルとして保存します。

お知らせ

• 画面キャプチャーを許可しない他のソフトウェアが存在する場合、正常に画面をキャプチャーすることができないことがあります。

背景切替の機能

ホワイトボードモード時、背景切替ボタンでスクリーンの背景の色をワンタッチで透明に切り替えることができます。
再度ボタンを押すとホワイトボード背景色のマスター設定で指定した色に戻ります。

【背景切替ボタン】

お知らせ

- ホワイトボード背景色のマスター設定が透明に設定されている場合は、背景色を白に切り替えます。
- 「その他の色／背景選択」からスクリーンの背景を透明以外の色や種類に切り替えることができます。

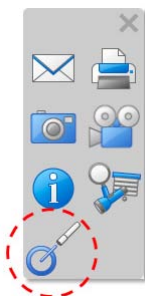
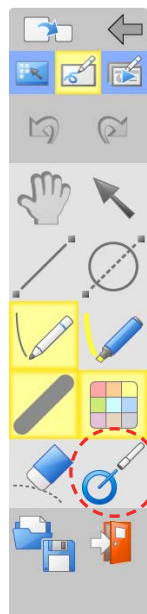
ポインターの変更（PB シリーズ専用）

■ ポインターの変更

ポインターを変更できます。

• **ホワイトボードモードまたは PowerPoint 連携モードの場合**

メインメニュー（詳細メニュー）のユーティリティメニューまたは簡易メニューから選択します。

【ユーティリティメニュー】

【簡易メニュー】

• **デスクトップ操作モードの場合**

デスクトップ操作モードメニューから選択します。

お知らせ

・タブレット PC 入力パネル上にポインターを表示する事はできません。

キーボード操作

キーボードを用いて本ソフトウェアを操作することができます。

キーボード操作	内容
Ctrl + Z	描画などの操作を元に戻します。
Ctrl + Y	戻した操作をもう一度やり直します。
Ctrl + C	選択されているオブジェクトをコピーします。
Ctrl + X	選択されているオブジェクトを切り取ります。
Ctrl + V	コピーされたオブジェクトを貼り付けます。
Delete	選択されたオブジェクトを削除します。
Esc	パワーポイント連携モードを終了します。
→ または ↓	パワーポイント連携モードでスライドのページを送ります。
← または ↑	パワーポイント連携モードでスライドのページを戻します。

パナソニック株式会社　ＡＶＣネットワークス社

〒571-8503　大阪府門真市松葉町2番15号

W0615AM0 -PS